

※テーマごとにA～Cグループに分かれて役割分担について話し合いを実施。

◆第3回 あま市地域懇談会（ワークショップ）まとめ◆

【Aグループ】 テーマ① 互いに支え合うきずなづくり

課題	解決策	市民	地域・関係団体	行政
協働の推進	<ul style="list-style-type: none"> HPの活用などによる市民活動の情報収集、発信、意見交換の場の充実 		<ul style="list-style-type: none"> 情報の公開・提供（リンクを貼るなど）を積極的に行う 積極的な情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動の把握 PC教室に（気軽に）行ける場所づくり HPや広報への情報を収集するための広報を活発にする 行政が情報発信する HPプチリニューアル（ページを増やす）まずは少しの改善 町ごとに巡回バスを運行させる
さまざまな立場、世代の人の相互理解	<ul style="list-style-type: none"> 子ども達とお年寄りの方と一緒に過ごす時間を持つ。昔のくらしのこと（食べ物、衣服、生活、道具）、昔の遊び等を教えてもらったり、一緒に遊ぶ。 社会的弱者への理解に関する子どもから母親への学習機会の提供 障がい者、高齢者などへの友愛活動の推進やIT、タブレットなどをとり入れた活動 	<ul style="list-style-type: none"> 母親に対する社会教育する人をPTAに力を入れてほしい 関係団体も色んな場所に参加してみんなに知ってもらう 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の老人クラブの人が訪問する 老人クラブや子ども会に呼びかけて一緒に過ごす時間を設けるように計画を立てる 教育の材料や講師や場（施設見学など）の提供 学校で福祉の授業が年1回？必ずあるのでその時にもっと身近な内容で進めてほしい（年1回は少ない気がする） 	<ul style="list-style-type: none"> 民間からの事業提案を検討 行政が学習できる場所を作る（空いた学校の利用）
ご近所づきあいの低下	<ul style="list-style-type: none"> あいさつをする為の声かけ運動 	<ul style="list-style-type: none"> 自分からあいさつする 地区の人で高齢者の人が集会する声をかけてほしい 		<ul style="list-style-type: none"> 幼児・学童から挨拶の徹底をする
市民としての意識低下	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア活動の為の人材育成 		<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block;"> 協力 ← 連携 → 企画 </div>	<ul style="list-style-type: none"> 活動の場所を提供する
情報の共有不足	<ul style="list-style-type: none"> 三町合併のメリット 各種市民と一緒に企画は一つにしないで3地区で行う（三世代交流、福祉まつり） 公共施設利用に関するサービスの充実 地区の中で話をして行事に参加する所がほしい 			<ul style="list-style-type: none"> 開放時間や利用方法を見直す 利用規則の徹底 施設利用の改正（担当課等にしばらくられない） 小学校の空き教室を無料で開放する さまざまなケースに柔軟に対応できる職員教育 公共施設についての広報を活発にする（施設の場所、名前、利用時間等を知らせる）

【Bグループ】 テーマ② 地域力を高めるためのしくみづくり

課題	解決策	市民	地域・関係団体	行政
<p>社会的弱者に対する問題点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者福祉サービスが充実している街 <ul style="list-style-type: none"> ①キットと安心カードの備え(行政) ②孤立を防ぐ(地域の人の声かけ) ・社会的弱者の方々に対して正しい知識を伝える勉強会 ・地域のおじいちゃん、おばあちゃんに手助け、活躍してもらう(孫育て) “ソフリエ”の誕生 ・おじいちゃん、おばあちゃん達の参画意識の高揚で教育勉強会(子育て支援、豊かな心、道徳) ・弱者の対象者を絞る(例:①高齢者、②障がい者、③生活困窮者、④雇用が安定していない) 	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会 ・近所のあいさつ、声かけ ・あいさつは我が家から! 	<ul style="list-style-type: none"> ・リーダーの細分化 ・主任児童委員、民生・児童委員の周知 ・ファミリーサポートセンターの周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・「金銭を与える為の就労機会の提供」 ・有償ボランティアへの理解 ・公民館講座、“ソフリエ”養成講座(今と昔の子育てを学ぶ、遊び・接し方のテクニックのレクチャー) ・「放課後子ども教室」を甚目寺だけでなく七宝、美和にも作ってほしい ・「自立」して生活を営める環境整備
<p>関係機関の施策に対する問題点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・気軽に相談できる窓口 ・“広報みましよう”運動 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報が市民全体に配布されているので会話の中で情報を得る方法で活用するよう促す 		<ul style="list-style-type: none"> ・見やすい広報づくりをする ・市の情報だけではなく、町や企業等(会社等)の情報を記載してみても?!
<p>地域人材力に対する問題点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・まず近所の方からあいさつ、声かけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・あまつり、企画に市民も参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・あまつりの充実、細分化 	

【Cグループ】 テーマ③ いつまでも安心して暮らせるまちづくり

課題	解決策	市民	地域・関係団体	行政
地域のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ①地域ごとに名簿、電話、年齢表をつくる事 ②ゴミ袋の配布を従来の通り地域組織で行うようにする ③ふれあいサロン等を定期的に行うとよい(月1回ほど) 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の理解と情報提供① ・住民の理解と協力② ・住民の参加とボランティアの参加③ 	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・区長が行う(行政指導のもとで)① ・組長が実行する(行政が強く指導する)② </div> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に見直し、出入りを情報共有する(町内会等)① ・関係団体、コミュニティ管理人③ 	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉関係課の援助③
地域福祉	<ul style="list-style-type: none"> ①シルバー人材センターを活用(退職者をいかに行政に参加してもらうか) ②小学校入学あたりの保護者むけに発達障がい等分かりにくい障がいの講演会等 ③無料タクシーの活用(病院、買物等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・シルバー人材センターの利用① 	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・若い人(学生)に活躍してもらう(ボランティアとして)地域のつながり③、地域福祉① </div> <ul style="list-style-type: none"> ・個人入会促進① ・無料タクシー→コミュニティバス利用へ③ ・行政からの配布(タクシーチケット)③ ・無料タクシー(老人クラブ)③ 	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員①②③ ・ボランティアでなく少額でもお金を出すこと① ・福祉担当が行う② ・教育委員会② ・各地区平等に行うこと(現在バラバラ)③
交通の便	<ul style="list-style-type: none"> ①時刻表を作って、バス停もはっきりしてほしい ②市内バスは地域循環型、広域循環型の2本立てとする ③コミュニティバスの運行体制をどうするか?市(公営)にするか民間(名鉄バスなど)に委託するか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民から詳細な要望を伝える①②③ ・住民の利用①②③ 	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバスの運行(老人クラブ)①②③ ・コミュニティバスのルートと運行方法を定める①②③ </div> <ul style="list-style-type: none"> ・各地域でまとめる①②③ ・区長の申告①②③ 	<ul style="list-style-type: none"> ・公営とし行政責任①②③ ・全て行政①②③ ・バス運行者(行政指導)① ・市でやってほしい① ・行政が行う③ ・あま市地域公共交通会議に福祉関係課の方の参入③

課題	解決策	市民	地域・関係団体	行政
道	<ul style="list-style-type: none"> ①暗い所が多いため街灯の設置箇所を増やし明るくする(駅、通学路、住宅地の周辺など) ②歩道の整備を行う ③歩道と車道を区別する。わかりやすい舗装(色で分ける) 	<ul style="list-style-type: none"> ・危険箇所、暗いなどの情報を都度、行政に上げる(※但し整備は行政)①②③ 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政が関係機関と調整をとり整備する①②③ ・区長① ・維持費(電気代)は、地域① 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路、街灯の現状把握と整備①②③ ・速度規制・一方通行は、警察署①②③ ・土木課②③
医療	<ul style="list-style-type: none"> ①5～6才での発達面での健診 ②各地区の平均寿命・健康寿命データを開示する ③減塩食事の指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣の改善②③ 	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人(学生)に活躍してもらおう(ボランティアとして)地域のつながり③、地域福祉① 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政②③ ・乳幼児健診と同じように福祉センターで保健師がやるとよいかも① ・福祉関係課① ・教育担当① ・生活改善グループ③
防災	<ul style="list-style-type: none"> ①災害時だれにでもすぐわかる状況を知らせる方法をつくる ②先月の雨で道路が冠水した場所を明確化する。場所、水深。 ③各地区の区長、町内会長にもっと権限あると良いかも 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民が体制作り① ・ハザードマップ作成に協力する①② 	<ul style="list-style-type: none"> ・各戸の家庭状況(名簿)の資料、集会所のカギ持っておく。最悪の場合のマニュアル作り(責任の所在)③ ・自分たちで本当にあるべき姿を考える(町内会)①②③ ・老人クラブ①②③ ・区長の統括① ・コミュニティ防災担当② 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災情報の素早い提供(市HP、メール配信、CATV、コミュニティFMなど)① ・ハザードマップを全戸に配布する① ・消防と行政が連絡① ・FM77.3で知らせるためのコミュニティラジオが開設されたことを市民へもつと知らせる① ・権限を持たせる③
子どもの生活安全	<ul style="list-style-type: none"> ①放課後子ども教室。あま市内、各学校でバラつきがあるので統一の方向で交流会など開く ②街の中に見守り隊みたいな方がいれば良い ③定年退職された人による見まわりや子どもの登下校の付き添い 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの親は30～40歳代は時間が取りにくい。時間に余裕のある世代(60歳以上)にお願いするほかない。でも行政の後押しが必要。保険の理解①②③ ・市民公募を行い、子ども好きな方、訓練を受けた人に見回りや付き添いをしてもらおう②③ 	<ul style="list-style-type: none"> ・交流会→ふれあいサロン① 	<ul style="list-style-type: none"> ・シルバー人材センター、ボランティアの活用②③ ・バラつきのない施策を行う①②③ ・各子ども教室の運営内容を確認し統一を行う(夏・冬休みも含む)①